



千葉労働新聞

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

92.10.15 No. 3674



二期工事の敷地内デモにたつ交流センターの部隊

10・11 三里塚連続決起 10・13 小牧連続決起 自衛隊 怒怒怒 爆発 出兵に怒怒怒 爆発



全国から2800名が結集。公開シンポ粉碎！二期工事阻止を全員が誓う。

三日、成田市東峰において三里塚基地同盟主催の現地総決起集会が開催され、全国の闘う人々が二八〇〇名結集し、二期工事推進のためのシンポジウム粉碎！隅谷提言粉碎のために秋から冬の闘いに全力をつくして決起することが確認された。

集会の基調報告にたった北原事務局長は、「①政府・空港公団は、この間シンポを数回に渡り開催しているが、数を重ねる度に参加者も減り、低調になっていく。なによりも、敷地内農民がそこに参加していないのは、敵の危機である。敷地内農民を守り、秋から春へ闘いぬく。②この間三里塚空港が、PKOの出撃拠点をなっている。二度と戦争を繰り返さないためにも、自衛隊の海外派兵を許さず、三里塚空港を侵略のための出撃拠点にさせないために、闘いを強める。」との決意を明らかにした。

いよいよ三里塚闘争も正念場、この一月にも出されようとしている隅谷提言を許さず、一〇〇一月連続闘争に勝利し、反対同盟を守りぬこう！

動労千葉は、中野委員長を先頭に小牧現地に結集し、二一〇〇名の仲間たちとともに終始戦闘的に集会とデモを貫徹し、新たな反戦闘争創造への決意を打ち固めた。「国際貢献」という仮面をつけた侵略・派兵を断じて許さない！決死の糾弾闘争に立ち上がったアジアの民衆に本当に応えなければならぬ。この気持ちを全員が胸に刻み込み、機動隊の弾圧を吹き飛ばしてデモ行進と正面ゲート前での座込みを闘いぬいた。

闘いは始まった。一〇・一三の「力」を一〇・二一日比谷へ結集し、戦争への道を断ち切ろう。

十・一三自衛隊「本体」出兵への怒りは爆発した。

小牧基地と周辺は、早朝の暗やみを引き裂く弾劾とシュプレヒコールに包まれ、出兵隊員と家族は正面ゲートから入ることすらできず裏口からコソコソと入りこむという惨状だ。



早朝7時。怒りのシュプレヒコールで小牧現地闘争は開始された。



写真左、小牧基地正面ゲート前を實力の座り込みで封鎖。(後方が小牧基地)「二度と侵略の銃を握るな」と怒りの声が基地内の自衛隊員に訴えられた。



小牧基地へ向けて進む反戦共同行動委員会のデモ